

日 退 教

事務局速報

日本退職教職員協議会

発行責任者 竹田邦明

14-1号 2014年4月11日

「義務教育諸学校の教科用図書は無償措置に関する法律の一部を改正する法律案」成立

共同採択区においては、「協議の結果に基づき同一の教科書を採用しなければならない」ことに

小中学校で使う教科書を選ぶ際の手続きを詳しく定めた「改正教科書無償措置法」がさる4月9日、参院本会議で賛成多数で可決、成立しました。採択地区ごとにどの教科書を使うかを検討する協議会を設置し、市町村にはこの協議会が選んだ教科書の使用が義務づけられます。来年4月1日に施行、2016年度に使用する教科書の採択から適用されることとなります。

法改正は沖縄県八重山地区で中学の公民教科書が一本化できない問題が起きたことが契機となりました。

竹富町は石垣市、与那国町と「八重山採択地区協議会」を構成し、共同採択してきましたが、2012年度以降、同協議会が選んだ育鵬社版の中学公民教科書を採用せず、独自に東京書籍版を選び、寄付金で生徒に配布してきました。そのため国は是正要求(本年3月14日)に加え、今回法改正し、採択地区協の決定に基づき同一の教科書を選ぶことを義務化しました。

一方で、採択地区の構成単位を「市郡」から「市町村」に細分化しました。旧法ができたのは1963年で、近年の市町村合併で郡の枠組みが崩れた地域も多く「実情に即し改正した」(文科省教科書課)といます。採択地区の構成を「市郡」から「市町村」に見直すことになったことから、竹富町は石垣市のほか、同じ八重山郡の与那国町と協議会を構成していますが、来年4月1日以降に独自の地区設定ができることとなります。その結果法令上は竹富町単独での採択が認められることとなります。しかし文部科学省は「八重山は共同エリア」とし、採択地区の設定が不適切だと判断した場合は「指導、助言することもあり得る」と指摘。竹富町が独自に採択する動きをけん制しています。

日退教はこの間、沖縄県・高退教と連携し、この問題を一地域の教科書採択の問題にとどめることなく国による教育への介入問題として捉え、課題を全国の会員で共有してきました。この間竹富町の教科書採択を認めるよう民主党への要請(2011年12月)等を行っ

てきました。

今後、共同採択区においては、この「無償措置法」下において採択地区協議会が設置され、「協議の結果に基づき同一の教科書を採択しなければならない」こととなりました。また、協議会の組織および運営については政令で定められ、それに基づき各採択区で規程が作られることとなります。

各単会においては、採択地区の決定や協議会の設置過程などの動向を注視し、地域・保護者・学校現場の声が反映される採択制度を求め、現職組合と連携し運動に取り組んでいくことを要請します。

民主党は、都道府県教育委員会による採択地区設定のしくみを廃止し、都道府県教育委員会による教科書の共同研究を実施するための「共同研究委員会」の創設や、採択した教科書についての情報の公開義務を盛り込んだ対案をもって臨みました。

また、日政連なたにや議員が質問に立ち、法案の問題点や課題について質しましたが、数の力で法律案は採決・可決されました

4月8日 参議院文教委員会での質疑から(日退教事務局傍聴行動)

○下村博文文部科学大臣 今回の法律改正案は、これは教科書無償措置法にのっかって、共同採択地区で選ばれた教科書はきちっと選んでもらう。そのために、共同採択における協議会における規約等が明確でないために今回のような混乱が生じたということを踏まえて、法律改正をし、採択をされる教科書については、それは協議会で選んだ教科書、そのままきちっと採択できるような法的なルールの明確を図るということでもあります。

○石橋通宏委員(民主党) 今の御説明によると、むしろ今回の改正によって協議会の設置を採択地区、共同採択地区には義務付けると、法律によって。そして、その決定を尊重させると。これが今回の目的であるとする、これはむしろ地方自治の本旨、いわゆる地方公共団体、市町村教育委員会が教科書決定採択権を持つということに反することになるのではないかというふうに思います。であれば、これはかなり問題ありと言わざるを得ない。

○なたにや正義委員(民主党・日政連) 質疑要旨

- ・ 09年閣議決定では、将来的には学校採択を見据えるとしているが、それは変わらないのか。
→変更はない。
- ・ 採択地区協議会で同一の教科書を採択することを義務付けていることは、この閣議決定の趣旨に反するのではないか。
→新たに共同採択地区を作るということではない。十分な調査研究のために共同採択区を設定してほしいという現場の声から共同採択は必要である。
- ・ 13年の中教審分科会のまとめでは、「研究は共同で行うが採択はそれぞれの教育委員会で行うこと」と検討課題に示されていたが、それに対する見解はどうか。
→中教審では今後の検討課題として協議の中で出されたという認識であるが、無視するともいっていない。謙虚に耳を傾けたい。

沖縄県竹富町教育委員会は4月7日、文部科学省の是正要求(3月14日)に応じず、独自採択した東京書籍版の教科書を新3年生に配りました。